

契約の変更につき議決を求めることについて  
(旧産業廃棄物最終処分場二次対策工事)

1. 工事名

平成25年度第RD-3号旧産業廃棄物最終処分場二次対策工事

2. 工事場所

栗東市小野

3. 工事目的

本工事は次の支障を除去することを目的とする

- ・ 廃棄物の飛散流出のおそれ
- ・ 汚染された浸透水が地下水へ拡散するおそれ
- ・ 硫化水素ガスの悪臭発生のおそれ

4. 工事概要

廃棄物土掘削工、廃棄物土選別工、浸透水処理施設工

汚染地下水拡散防止対策工(鉛直遮水工、底面遮水工、浸透水揚水工、キャッピング工)

5. 工期

平成25年12月20日～平成33年3月25日

6. 変更による増減額

変更前契約額 3,598,932,600 円

変更増減額 634,938,480 円

変更後契約額 4,233,871,080 円

7. 契約相手方

鴻池・不動産トラ・八田建設工事共同企業体

代表者 株式会社 鴻池組 京都支店

支店長 岩口 弘

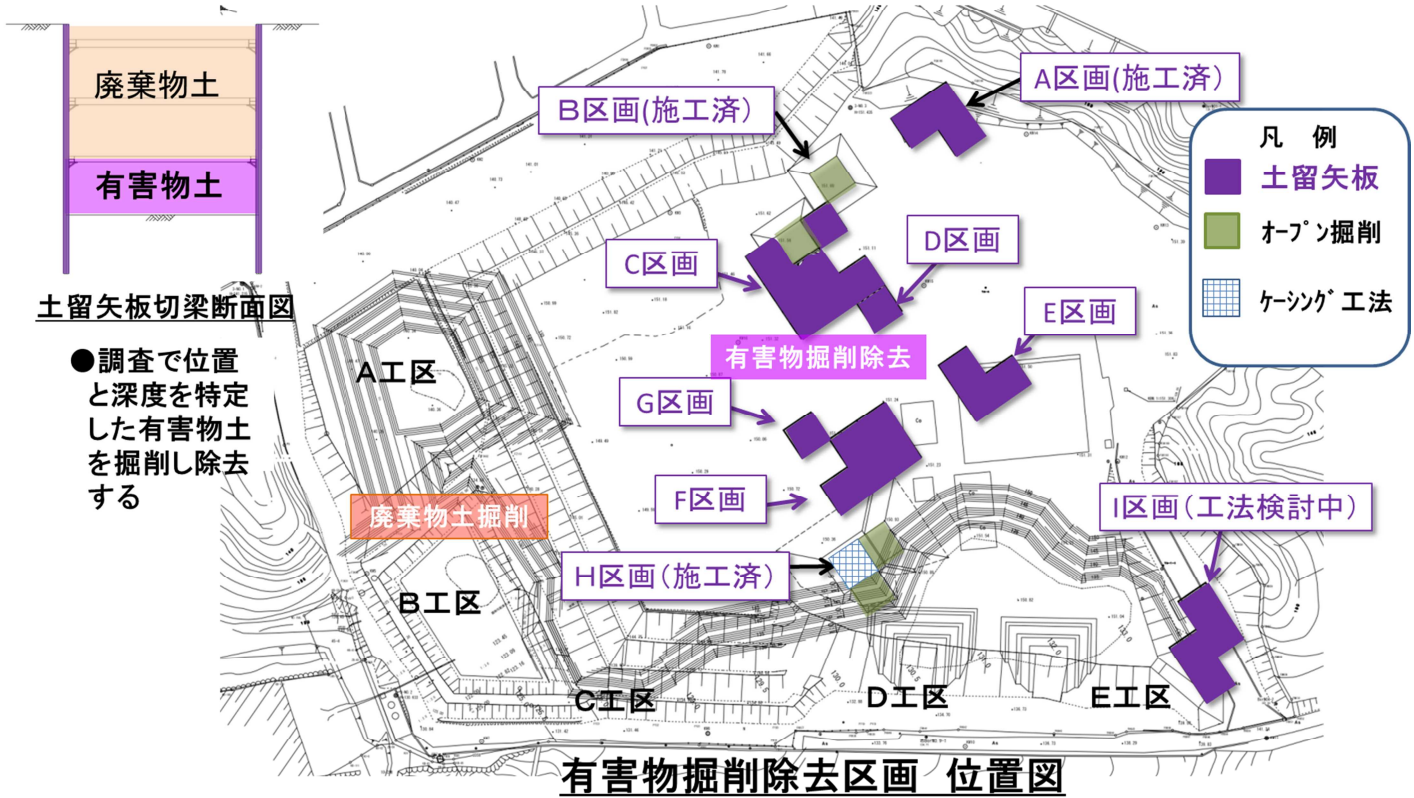
8. 変更理由

(1) 地下水汚染の原因となる有害物の掘削除去は、深くまで掘削する箇所では矢板を設置して行うが、当初想定できなかった大型鋼材等、矢板施工上支障となる廃棄物が出たため、大型鋼材等があっても矢板設置が可能な工法に変更する。

(予算については平成29年11月定例会議において債務負担行為として議決済み)

(2) 廃棄物土の性状が当初想定より含水率が高いことから、廃棄物土の含水率低減処理工程の追加や廃棄物と選別土との分別に必要な選別助剤の添加量を変更する。

# (1) 大型鋼材等があっても矢板設置可能な工法に変更



**【当初工法】**

- 工法: アースオーガ併用圧入工法
- 工法概要: 掘削ドリル(アースオーガ)を用いて削孔し、それと同時あるいは削孔後に油圧機構を用いて鋼矢板を押し込む工法
- 選定理由: 小さなコンクリート殻があっても施工可能な当該工法を選定した。

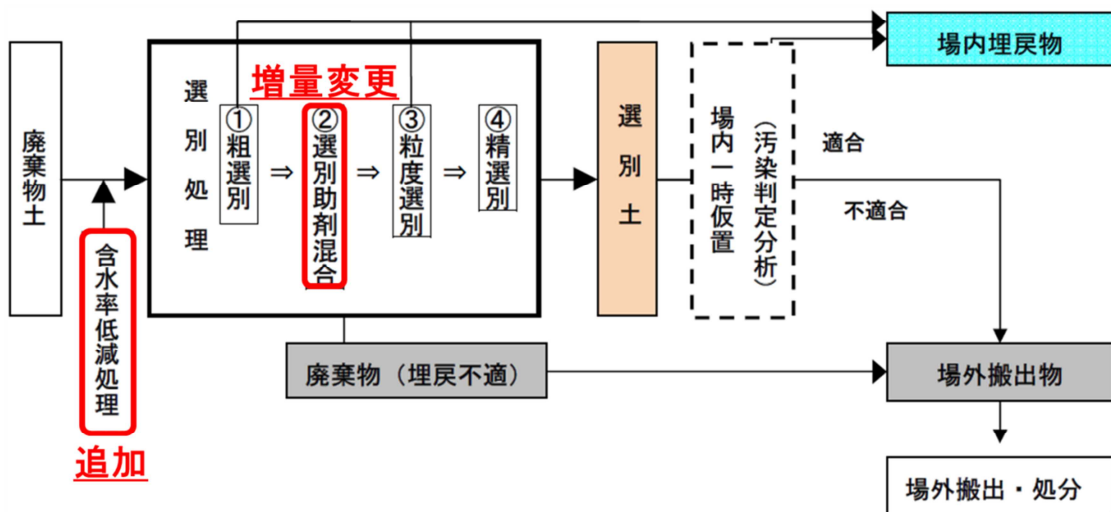


**【変更工法】**

- 工法: 全旋回オールケーシング工法+砂置換+パイロハンマ工法
- 工法概要:
  - ① 鋼矢板を設置する箇所において、先端に金属刃を取り付けたケーシング(鋼管)の旋回掘削により大型の鋼材、大きなコンクリート殻等を切削破砕し、ハンマグラブ(※)で取り除いた後、砂等を埋め戻してケーシングを引き抜く。
  - ② その後、パイロハンマ(※)で鋼矢板を打設する工法。
- 選定理由: 大型鋼材等の除去が唯一可能である当該工法を選定した。

※ハンマグラブ: 大口径掘削機械の一種。地盤に打ち込み土砂を掴み取る。  
 ※パイロハンマ: 振動式杭打機で鋼矢板の打ち込みを行う。

# (2) 廃棄物土の含水率低減処理工程の追加や廃棄物と選別土との分別に必要な選別助剤の添加量の変更



掘削した廃棄物土の処理フロー